

2024年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月9日

上場会社名 株式会社エンビプロ・ホールディングス 上場取引所 東
コード番号 5698 URL <https://www.envipro.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐野 富和
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理管掌 (氏名) 竹川 直希 (TEL) 0544-21-3160
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期第2四半期の連結業績(2023年7月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第2四半期	25,789	9.4	726	△16.5	1,004	△1.0	692	△2.4
2023年6月期第2四半期	23,582	△13.4	870	△41.8	1,014	△42.3	709	△44.1

(注) 包括利益 2024年6月期第2四半期 708百万円(△0.8%) 2023年6月期第2四半期 713百万円(△44.9%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2024年6月期第2四半期	23.11		22.20	
2023年6月期第2四半期	23.91		22.94	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第2四半期	32,470		17,145		51.8	
2023年6月期	33,686		16,825		48.6	

(参考) 自己資本 2024年6月期第2四半期 16,826百万円 2023年6月期 16,386百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2023年6月期	—	0.00	—	14.00	14.00	
2024年6月期	—	0.00				
2024年6月期(予想)			—	14.00	14.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2024年6月期の連結業績予想(2023年7月1日~2024年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	54,000	9.8	1,330	△13.8	1,700	△10.6	1,210	△2.1	40.22	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年6月期2Q	30,199,656株	2023年6月期	30,102,454株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2024年6月期2Q	一株	2023年6月期	399,470株
------------	----	----------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年6月期2Q	29,971,140株	2023年6月期2Q	29,673,994株
------------	-------------	------------	-------------

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提になる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、決算短信 (添付資料4ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」) をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(セグメント情報等)	12
(重要な後発事象)	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループの事業領域においては、中国不動産市況の低迷の長期化、不安定な世界情勢、世界的なインフレ長期化に伴う景気後退の懸念等により、先行きは不透明な状況が続いているものの、一部地域では鋼材需要が回復傾向にあり、世界の粗鋼生産量は増加しました。金属価格については世界的なインフレと需給の拮抗により安定して推移しました。

このような状況において、鉄スクラップ価格（東京製鐵田原海上特級価格）は、当期首から高位安定で推移し、当第2四半期連結累計期間の鉄スクラップ平均価格は1トン当たり50,176円と、前年同期の47,315円を上回りました。

またリチウムイオン電池の主原料においては、コバルト、ニッケル、リチウムの相場の平均価格は前年同期を下回りましたが、銅の平均価格は前年同期を上回って推移しました。

このような環境下で、当第2四半期連結累計期間においては、「サーキュラーエコノミー（CE）をリードする」という戦略コンセプトのもと、「モノづくりを支えるCE」、「地域を支えるCE」という2つの戦略に分類し、CEの具体的事例を他社に先駆けて数多く実現していくべく、事業を推進してまいりました。人的資本、設備等への積極的な投資、安全管理等の推進に加え、不採算事業からの撤退と新規事業の拡大によるポートフォリオの組み換えも進めてまいります。

以上の結果、売上高は25,789百万円（前年同期比9.4%増）、営業利益は726百万円（前年同期比16.5%減）、経常利益は1,004百万円（前年同期比1.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は692百万円（前年同期比2.4%減）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであり、売上高についてはセグメント間の内部売上高又は振替高を含めた売上高で表示しております。

セグメント別業績の概要

《売上高》

（単位：百万円）

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減比
資源循環事業	8,529	10,283	20.6%
グローバルトレーディング事業	16,831	17,445	3.6%
リチウムイオン電池リサイクル事業	775	718	△7.4%
その他	222	242	9.3%
調整額	△2,775	△2,900	—
合計	23,582	25,789	9.4%

《セグメント利益》

（単位：百万円）

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減比
資源循環事業	748	789	5.5%
グローバルトレーディング事業	113	292	157.7%
リチウムイオン電池リサイクル事業	288	132	△54.2%
その他	50	54	8.2%
調整額	△185	△263	—
合計	1,014	1,004	△1.0%

（注）セグメント利益は四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

①資源循環事業

集荷拠点周辺での解体工事発生が少なく、仕入としての解体スクラップの取り扱いが減少した影響により金属スクラップの取扱量は前年同期を下回り、加えて新工場稼働に伴う減価償却等も利益を圧迫しました。

一方で好調な広域での解体工事や片付け事業及び利益率の高い商材の入荷量増加が収益を増加させました。

以上の結果、資源循環事業の売上高は10,283百万円（前年同期比20.6%増）、セグメント利益は789百万円（前年同期比5.5%増）となりました。

②グローバルトレーディング事業

リサイクル資源の流通においては金属スクラップの仕入環境は依然低調ながらも、国際的には販売環境の回復が見られ、取扱量は増加しました。また回復傾向にある輸送環境、及び為替の影響により利益は増加しました。物流代行サービスにおいては内陸国向けの好調な出荷、及びコスト削減が利益を増加させました。

以上の結果、グローバルトレーディング事業の売上高は17,445百万円（前年同期比3.6%増）、セグメント利益は292百万円（前年同期比157.7%増）となりました。

③リチウムイオン電池リサイクル事業

電池材料の需要は引き続き堅調に推移する中で取扱量が増加しました。一方で電池材料であるコバルト、ニッケル、リチウムの相場は低迷しました。

以上の結果、リチウムイオン電池リサイクル事業の売上高は718百万円（前年同期比7.4%減）、セグメント利益は132百万円（前年同期比54.2%減）となりました。

引き続き、2024年6月稼働予定の茨城工場の準備を進めてまいります。

④その他

TNFD対応支援、サーキュラーエコノミー関連コンサルティング、CO₂算定システムの開発等の新規取り組みを進める中で、人的資本投資を増強しました。一方で、CDP評価向上支援の増加が収益に貢献しました。

障がい福祉サービス事業は、認知度向上により就労継続支援B型を中心に新規利用者及び延べ利用人数が増加しました。

以上の結果、その他事業の売上高は242百万円（前年同期比9.3%増）、セグメント利益は54百万円（前年同期比8.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は32,470百万円（前連結会計年度末比1,216百万円の減少、3.6%減）となりました。流動資産は17,231百万円（前連結会計年度末比1,856百万円の減少、9.7%減）となりました。これは、商品及び製品が559百万円増加したものの、その他流動資産が1,359百万円、現金及び預金が764百万円減少したこと等によります。固定資産は15,238百万円（前連結会計年度末比639百万円の増加、4.4%増）となりました。これは、建設仮勘定が61百万円減少したものの、機械装置及び運搬具が556百万円、投資有価証券が220百万円増加したこと等によります。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は15,324百万円（前連結会計年度末比1,536百万円の減少、9.1%減）となりました。流動負債は9,223百万円（前連結会計年度末比1,191百万円の減少、11.4%減）となりました。これは、未払法人税等が178百万円増加したものの、短期借入金が660百万円、その他流動負債が586百万円減少したこと等によります。固定負債は6,101百万円（前連結会計年度末比344百万円の減少、5.4%減）となりました。これは、長期借入金が282百万円減少したこと等によります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は17,145百万円（前連結会計年度末比320百万円の増加、1.9%増）となりました。これは、非支配株主持分が112百万円減少したものの、利益剰余金が276百万円、自己株式の処分により131百万円増加したこと等によります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ763百万円減少し、6,481百万円（前連結会計年度末比10.5%減）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、未払金の増減額881百万円、仕入債務の増減額155百万円、法人税等の支払額97百万円等の支出があったものの、その他資産負債の増減額1,285百万円、税金等調整前四半期純利益1,019百万円、前渡金の増減額73百万円の収入があったこと等により、1,357百万円の収入（前年同四半期は1,361百万円の収入）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の売却による収入が54百万円あったものの、有形固定資産の取得による支出が688百万円、無形固定資産の取得による支出が39百万円あったこと等により、690百万円の支出（前年同四半期は921百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入が301百万円あったものの、短期借入金の純減少額660百万円、長期借入金の返済による支出558百万円、配当金の支払額415百万円等の支出があったこと等により、1,411百万円の支出（前年同四半期は2,015百万円の支出）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年6月期の業績予想につきましては、2024年2月9日公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおり修正を行っております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,390,449	6,625,847
受取手形及び売掛金	4,761,700	4,360,942
商品及び製品	3,857,343	4,417,156
仕掛品	81,724	86,712
原材料及び貯蔵品	630,437	729,677
その他	2,377,737	1,017,831
貸倒引当金	△11,175	△6,535
流動資産合計	19,088,218	17,231,631
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,674,502	8,734,525
減価償却累計額	△5,204,026	△5,353,252
建物及び構築物（純額）	3,470,476	3,381,273
機械装置及び運搬具	15,113,483	15,843,670
減価償却累計額	△12,359,773	△12,533,226
機械装置及び運搬具（純額）	2,753,709	3,310,443
土地	3,839,023	3,841,021
建設仮勘定	622,877	560,939
その他	978,459	970,441
減価償却累計額	△819,738	△822,638
その他（純額）	158,721	147,803
有形固定資産合計	10,844,809	11,241,481
無形固定資産		
のれん	26,729	25,125
その他	122,223	150,914
無形固定資産合計	148,952	176,040
投資その他の資産		
投資有価証券	3,172,757	3,392,945
出資金	17,224	17,234
繰延税金資産	332,771	333,267
その他	288,418	270,968
貸倒引当金	△206,166	△193,338
投資その他の資産合計	3,605,005	3,821,077
固定資産合計	14,598,767	15,238,599
資産合計	33,686,985	32,470,230

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,816,158	2,660,763
短期借入金	4,230,000	3,570,000
1年内返済予定の長期借入金	967,280	993,568
リース債務	93,655	96,907
未払法人税等	149,139	327,908
賞与引当金	108,123	109,954
その他	2,050,985	1,464,280
流動負債合計	10,415,342	9,223,382
固定負債		
長期借入金	4,822,781	4,539,877
リース債務	213,549	205,120
再評価に係る繰延税金負債	64,022	64,022
退職給付に係る負債	950,773	933,335
資産除去債務	198,579	198,795
その他	196,431	160,014
固定負債合計	6,446,137	6,101,165
負債合計	16,861,480	15,324,548
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,524,830	1,550,347
資本剰余金	1,982,822	1,992,521
利益剰余金	12,889,079	13,165,995
自己株式	△131,732	—
株主資本合計	16,264,999	16,708,864
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,218	21,226
土地再評価差額金	8,598	8,598
為替換算調整勘定	94,228	88,092
その他の包括利益累計額合計	121,045	117,917
新株予約権	326,584	318,899
非支配株主持分	112,875	—
純資産合計	16,825,505	17,145,682
負債純資産合計	33,686,985	32,470,230

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年7月1日 至2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年7月1日 至2023年12月31日)
売上高	23,582,307	25,789,349
売上原価	19,225,822	21,604,726
売上総利益	4,356,485	4,184,622
販売費及び一般管理費	3,486,312	3,458,059
営業利益	870,173	726,563
営業外収益		
受取利息	924	655
受取配当金	533	1,329
持分法による投資利益	201,989	216,959
為替差益	—	43,804
受取賃貸料	14,597	23,209
その他	44,207	54,364
営業外収益合計	262,252	340,323
営業外費用		
支払利息	12,554	18,759
為替差損	96,394	—
減価償却費	2,114	30,731
その他	6,504	12,501
営業外費用合計	117,566	61,992
経常利益	1,014,858	1,004,894
特別利益		
固定資産売却益	24,510	15,487
特別利益合計	24,510	15,487
特別損失		
固定資産除却損	1,161	1,007
固定資産売却損	1,631	49
特別損失合計	2,793	1,057
税金等調整前四半期純利益	1,036,575	1,019,325
法人税等	311,650	307,790
四半期純利益	724,925	711,535
非支配株主に帰属する四半期純利益	15,289	18,776
親会社株主に帰属する四半期純利益	709,635	692,758

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	724,925	711,535
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,748	2,672
土地再評価差額金	△34	—
為替換算調整勘定	△9,524	△6,135
その他の包括利益合計	△11,307	△3,463
四半期包括利益	713,617	708,071
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	698,327	689,294
非支配株主に係る四半期包括利益	15,289	18,776

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,036,575	1,019,325
減価償却費	400,724	621,337
のれん償却額	1,603	1,603
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△21,820	△17,443
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△233	1,830
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	17,290	△17,458
受取利息及び受取配当金	△1,458	△1,985
支払利息	12,554	18,759
為替差損益 (△は益)	61,028	19,256
持分法による投資損益 (△は益)	△201,989	△216,959
固定資産売却損	1,631	49
固定資産除却損	1,161	1,007
固定資産売却益	△24,510	△15,487
売上債権の増減額 (△は増加)	1,610,688	400,758
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△43,252	△664,054
仕入債務の増減額 (△は減少)	△74,186	△155,416
前渡金の増減額 (△は増加)	△10,197	73,577
未払金の増減額 (△は減少)	△280,453	△881,741
その他	△406,537	1,285,076
小計	2,078,619	1,472,036
利息及び配当金の受取額	2,126	2,239
利息の支払額	△12,576	△19,076
法人税等の支払額	△707,059	△97,831
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,361,110	1,357,367
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△719	△600
定期預金の払戻による収入	1,200	1,617
有形固定資産の取得による支出	△988,978	△688,417
有形固定資産の売却による収入	39,425	54,780
無形固定資産の取得による支出	△16,077	△39,596
その他	43,885	△17,801
投資活動によるキャッシュ・フロー	△921,264	△690,016

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,810,000	△660,000
長期借入れによる収入	1,100,000	301,666
長期借入金の返済による支出	△396,303	△558,282
株式の発行による収入	—	29
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△167,726	△79,219
配当金の支払額	△741,502	△415,841
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,015,532	△1,411,648
現金及び現金同等物に係る換算差額	△62,123	△19,287
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,637,809	△763,584
現金及び現金同等物の期首残高	8,913,450	7,245,339
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,275,640	6,481,754

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社及び連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	資源循環	グローバル トレーディング	リチウムイ オン電池リ サイクル	計				
売上高								
鉄	1,788,787	11,131,124	—	12,919,911	—	12,919,911	—	12,919,911
非鉄金属	1,575,591	1,701,690	—	3,277,281	—	3,277,281	—	3,277,281
ゴム製品	1,062,034	—	—	1,062,034	—	1,062,034	—	1,062,034
中古自動車	—	3,487,592	—	3,487,592	—	3,487,592	—	3,487,592
LIB関連	—	—	631,506	631,506	—	631,506	—	631,506
その他	1,609,157	382,139	—	1,991,297	212,682	2,203,979	—	2,203,979
顧客との契約から生じ る収益	6,035,571	16,702,547	631,506	23,369,625	212,682	23,582,307	—	23,582,307
外部顧客への売上高	6,035,571	16,702,547	631,506	23,369,625	212,682	23,582,307	—	23,582,307
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,493,603	128,818	144,006	2,766,428	9,488	2,775,916	△2,775,916	—
計	8,529,174	16,831,365	775,513	26,136,053	222,170	26,358,224	△2,775,916	23,582,307
セグメント利益	748,128	113,530	288,409	1,150,068	50,546	1,200,614	△185,755	1,014,858

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境経営コンサルティング事業、障がい福祉サービス事業を含んでおります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△185,755千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II. 当第2四半期連結累計期間（自 2023年7月1日 至 2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	資源循環	グローバル トレーディ ング	リチウムイ オン電池リ サイクル	計				
売上高								
鉄	1,426,140	12,800,128	—	14,226,269	—	14,226,269	—	14,226,269
非鉄金属	1,784,563	1,621,063	—	3,405,626	—	3,405,626	—	3,405,626
ゴム製品	2,756,037	49,302	—	2,805,339	—	2,805,339	—	2,805,339
中古自動車	—	2,328,958	—	2,328,958	—	2,328,958	—	2,328,958
LIB関連	—	—	533,091	533,091	—	533,091	—	533,091
その他	1,793,864	469,286	—	2,263,151	226,911	2,490,063	—	2,490,063
顧客との契約から生じ る収益	7,760,606	17,268,738	533,091	25,562,437	226,911	25,789,349	—	25,789,349
外部顧客への売上高	7,760,606	17,268,738	533,091	25,562,437	226,911	25,789,349	—	25,789,349
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,523,033	176,525	185,108	2,884,667	15,992	2,900,659	△2,900,659	—
計	10,283,640	17,445,264	718,200	28,447,105	242,903	28,690,009	△2,900,659	25,789,349
セグメント利益	789,329	292,530	132,089	1,213,949	54,700	1,268,649	△263,754	1,004,894

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境経営コンサルティング事業、障がい福祉サービス事業を含んでおります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△263,754千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。